令和６年１１月２２日（金）
公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団
（群馬県シルバー人材センター連合会）　担当：加藤
０２７－２５５－６４００

個人情報の漏洩について（速報）

公益財団法人群馬県長寿社会づくり財団（群馬県シルバー人材センター連合会）において、年末調整事務に関し、個人情報が漏洩する事案が発生しました。

関係者の皆様には、多大な御迷惑をお掛けしたことを深くおわび申し上げます。また、今後このようなことがないよう適切な事務処理を徹底し、再発防止に万全を期してまいります。

１　概要

県内シルバー人材センターに所属する派遣従事会員１，５４１名に、①住所用紙、②「令和７年分給与所得者の扶養控除等（異動）申告書（個人情報あり）」、③「令和６年分給与所得者の基礎控除申告書（個人情報あり）」、④記載例、⑤返信用封筒を郵送したところ、①と②・③を入れ違えて送付してしまったケースがあった。

＜発送状況（１１／２１現在）＞

発送数※１			
	正送付数 ※２	誤送付数 ※３	調査中 ※４
１，５４１通	１，２２９通	**８通**	３０４通

※１　発送数のうち、１１４通（税法上の乙区分の方）には個人情報は含まれていない。
※２　派遣従事会員が中身に誤りのないことを確認し、返信用封筒によって当財団に戻ってきた数。
※３　該当者から連絡があり、判明した数。
※４　派遣従事会員に送付されているが、提出期限（11/20）を過ぎても返信がなく、正・誤の確認がとれていない数。未提出の方には、電話等により確認中。

なお、現時点で、個人情報等の不正利用は確認されていない。

２　漏洩した個人情報

氏名、住所、性別、生年月日、前年度の所得、控除対象配偶者の有無

３　経緯

（１）１１月　８日（金）　シルバー派遣従事会員への郵送発送準備作業（印刷・封入）及び郵便局に持込。
（「住所用紙の宛名」と「申告書に記載の名前」を照合した上で封入したが、２重チェックをしなかったため誤りが発生）

（２）１１月１１日（月）　該当会員から、届いた申告書に記載の名前が違うと、当財団に連絡（２名）があり**誤送付が発覚。**

（３）１１月１２日（火）　該当会員から、届いた申告書に記載の名前が違うと、当財団に連絡（２名）あり。

（４）１１月１３日（水）～１４日（木）　会員が所属するシルバー人材センターから、「誤った申告書が届いてる。」と会員より申出があったと電話連絡あり（４名）。

４　発生原因

（１）「住所用紙」と「申告書」を組み合わせる際に、２重チェックの手順を省力してしまっていた。

（２）「住所用紙」を印刷するソフトと、「申告書」を印刷するソフトが異なっているため、各ソフトで印刷リストの順番が異なり、結果、組み合わせる際に一部ずれが生じてしまった。

５　対応

（１）　誤送付により別人の申告書を受け取った方及び自身の情報が漏洩してしまった方には謝罪し、所属シルバー人材センターと連携し、誤送付の申告書をすべて回収するとともに、正しい申告書を送付しています。

（２）　誤送付により別人の申告書を受け取った方及び自身の情報が漏洩してしまった方には、改めておわびの文書を発送する予定です。

６　再発防止について

（１）　個人文書が記載された文書を送付する際には、必ず宛名と封入する文書の氏名が一致していることを複数人により照合します。

（２）　封入時には、複数人で確認したこと証明する「チェックシート」を設け、個人情報を扱う際の手順に加えます。